

関山神社社殿再建 200 年記念事業 妙高山修験の至宝展

関山神社秘蔵文化財一斉公開

須弥山の別名をもつ妙高山は、和銅元年（708）に裸形上人が開山し、その後妙高山の里宮（関山神社の前身）を関山の地に建立したのが始まりといわれ、最盛期には山岳修験の道場として七堂伽藍をはじめ 70 余房が存在したと伝えられています。

このように隆盛した関山の寺院群でしたが、戦国時代末期天正 10 年（1582）に織田信長の軍勢による侵攻を受けてことごとく焼き払われて大きく衰退しました。しかし、関山の信仰の場としての位置づけは変わることなく、江戸時代初期に幕府の支援によって宝蔵院が再興し、宝蔵院第 2 世院主「俊海」が約 400 年前に荒廃した社殿を再建したと伝えられています。

現在のケヤキづくりの社殿は、宝蔵院第 15 世院主「薩海」が準備から 10 年の歳月をかけ文政元年（1818）に再建しました。本年は関山神社社殿再建 200 年にあたり、その記念事業として仏像史のトップを飾る国内最古級の「銅造菩薩立像」をはじめとする関山神社秘蔵文化財を公開展示します。



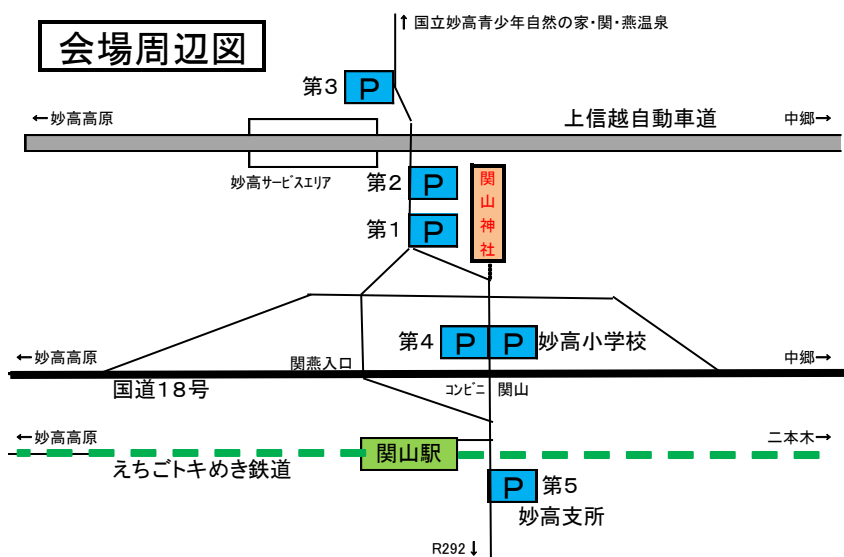
① 銅造菩薩立像

【主な展示品】

- ①銅造菩薩立像（国指定重要文化財）
飛鳥時代、国内最古級の百済仏
 - ②十一面観音菩薩像（妙高市指定）
南北朝～室町時代
 - ③文殊菩薩像（妙高市指定）
江戸時代、獅子に座る騎獅文殊
 - ④龍旗（妙高市指定）
上杉謙信が奉納したと伝わる。
 - ⑤妙高堂 阿弥陀三尊像
中尊：銅造阿弥陀如来立像（新潟県指定）
左脇侍：観音菩薩像（妙高市指定）
右脇侍：勢至菩薩像（妙高市指定）
 - ⑥妙高山如来の護符（江戸時代）
妙高山参詣登山者に渡した。
- ※ほかに宝蔵院日記・徳川幕府発給朱印状・裁許絵図、仏手、奪衣婆像、裸形上人位牌など。



会場周辺図



【電車利用の場合】

- ◎えちごトキめき鉄道
関山駅より徒歩約 15 分

【お車利用の場合】

- ◎第 1 駐車場 御手洗池南側
(20 台) 障がい者・思いやり車優先
 - ◎第 2 駐車場 妙高堂南側
(50 台) 徒歩約 3 分
 - ◎第 3 駐車場 妙高サービスエリア西側
(50 台) 徒歩約 8 分
 - ◎第 4 駐車場 妙高小学校前
(70 台) 徒歩約 5 分
 - ◎第 5 駐車場 妙高市役所妙高支所
(60 台) 徒歩約 15 分
- ※バスは国立妙高青少年自然の家駐車場へ